



NPO PTPL “ともいき” 便り No.130

平成 29 年（2017 年）9 月 7 日発行

■白露（はくろ） 9 月 7 日から 9 月 22 日までの節気

この夏、うちの 16 歳になる柴犬まるが、暑気^{あつけ}による皮膚炎になってしまいました。お医者さまから、夜もクーラーをつけるようにいわれ、24 時間つけっぱなしにしました。薬をのませ、薬用シャンプーで洗ったら、2 週間ほどでよくなりましたが、初めてのことで心配しました。老犬なので皮膚も弱くなっているのかもしれませんが。

そんな暑い夏がやっと去り、吹く風に涼しさを感じるようになりました。7 日から 22 日まで、「白露」の節気にはいります。「白露」は大気が冷えて、朝、草花に露が宿っているのを見るころ。明け方の冷え込みが強くなって、夏の蒸し暑さの名残の水蒸気が露になりやすいので、「白露」という名前がついているのだそうです。

先日、天気がよくてとても気持ちのよい日だったので、柴犬まるをつれて夫と立川市にある国営昭和記念公園にいきました。イチョウ並木が美しく、よくみると、葉にまじって銀杏がたくさん枝になっていました。「わあ、みて！」「落ちたら拾うのになあ」などと歓声をあげている方たちもいました。トンボもたくさん飛んでいて、ツクツク法師が元気に鳴いていました。はらっぱにいくと、キバナコスモスが満開でした。70 万本植えられているのだそうです。黄色くて真ん中がオレンジ色の花。コスモス畑のまわりは、ぱっとあかりがついたようなはなやかさです。花屋さんの店頭には、今、鉢植えのピンク色のコスモスが売られています。やはりコスモスは鉢植えより、野原に群生して、風に吹かれているほうが似合うなと思います。

さて、9 月 9 日は「重陽の節句」です。旧暦 9 月 9 日に行われていた行事で、菊の節句ともいわれています。昔、中国では 9 月 9 日に高い丘などに登って菊

酒を飲んで、邪気を祓い長寿を願いました。菊酒とは、菊の花を浮かべたお酒のことです。そのほかに、菊の花びらを干して枕の中につめた「菊枕」で眠ったり、菊の花に一晚、真綿をかぶせて露をふくませた「着せ綿」とよばれる綿で体をふくと、長生きできるといわれています。菊枕や菊の着せ綿からは菊のよい香りがほのかにただよってくることでしょう。そんなステキな重陽の節句ですが、新暦の9月9日には、露地ものの菊はまだ早すぎるので、しだいに祝われなくなってしまいました。残念です。ちなみに旧暦の9月9日は新暦になおすと今年10月28日です。昔の人たちが祝っていた本来の季節で、重陽の節句を楽しむのもいいですね。

そしてそろそろ新米の季節です。秋祭りも始まります。夏の間はもっぱら冷たい麦茶ばかり飲んでいましたが、今朝は久しぶりにあたたかいお茶を飲みました。なんだか、心落ち着く秋の入り口です。

みなさま、季節の変わり目ですから、くれぐれもご自愛ください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

★自然とのつながりを無視して自然を追いやる、都心での生活？

8月18日（金）から8月22日（火）までの5日間は立秋の末候（第39候）です。

「蒙霧升降（ふかききり、まとう）・濃い霧がまとわりつくように立ち込める時季です。」

「ともいき暦」の立秋の節気と第39候をクリックして2つの映像をお楽しみください。

<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2017/>

「ジャパネスク」の表紙の「残暑見舞い」の映像もクリックしてどうぞ!!

<http://www.japanesque.tokyo/>

●回帰循環する季節の移ろいを狂わし、自然災害を多くしているひとりよがり

の人間たちに、地球が、自然が警鐘を鳴らしているような感じがします。
都心で人工物に囲まれている生活、自然を都市に少しでも多く回復することを心がけましょう。

森の中にある大都市。森の中にある住宅。自然の中での生活。生命のつながりを大切にしている生活。人への自然への思いやり、いたわり、優しさの溢れた都市づくり。

★「小さな動き」は大きな「うねり」へと、「ジャパネスク」へ。

NPO PTPL では毎年旧元日を「ともいきの日」として、日本の自然観・生命観を世界へ発信・訴求・啓蒙する日としていますが、「ともいき」という価値観をもう一度強く取り戻し、誇りと自信を持って世界へ広めていくためにも日本人らしからぬ日本人が多くなってきている現在、まず。日本人にこの自然観・生命観をもう一度しっかりと理解してもらわなければなりません。

そのためにも年に1回の「ともいきの日」だけでなく、毎月の「満月の日」も「ともいきの日」とし、満月を見上げることにより、太陽に照らされて光り輝く月を感じ、夜空の星たちを感じ、自然の神秘や不思議さに目を見張る感性を育てる日としましょう。自然の一部としての人間が経済至上主義のグローバル化が急速に進展し、混沌としている現在の社会において、自然とどのように関わっていくのか、関わっていくべきかを考え、模索する日でもあります。

季節の移ろいを身体で感じ、自然を観賞・観察する習慣を身につけましょう。その「小さな動き」が大きな「うねり」、「ジャパネスク」へ動き出すでしょう。皆さんも毎月の「ともいきの日」を大切にしてください。

※「ともいき暦」の表紙1月28日の「ともいき」のロゴマークをクリックして、旧元日、「ともいきの日」をお読みください。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●秋の訪れ。

夜の帳がおりるころ、蟬の声もやみ、代わりにスズムシやコオロギなどの秋の虫の音が聞こえてきました。日中も日差しがやわらかくなり、心地よい風が吹く中、事務所近くの公園（本当に近いです。）での休憩も楽しい日課のひとつです。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと山」：<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

●NPO PTPL は「ジャパネスク運動」推進中です。

ぜひ、「ジャパネスク」サイトのメニューのひとつの「ジャパネスク語り」
（<http://www.japanesque.tokyo/katari.html>）をお読みください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話：03-6432-5911 FAX：03-6432-5912

Email：info@ptpl.or.jp